

平成27年度 学校評価(自己評価)

具体的目標および評価の観点		評価と課題
今年度の重点目標	① 多様な生徒に応じた、指導や支援に努め、生徒の自立と社会性の伸長を図る。	特別教育支援員の方と連携し、学年、係及び各教科で粘り強く取り組んでいる。少人数なので指導しやすい面もあるが、生徒の多様化に伴い生活習慣、学力ともに定着させるには、更に工夫が求められる。
	② 「授業は命」を合い言葉に、授業の質の向上を図り、学力の定着、向上をめざす。	習熟度別やコース制で少人数の指導を行っている。更に、わかる授業の実践を通して学力の向上につなげたい。また、コース制が活かされるような編成や内容を検討していきたい。
	③ 人権・生命を尊重し、いじめや体罰のない安心安全な学校づくりをすすめる。	人間関係を作るのが不得手な生徒が増加する中で、仲間づくりやコミュニケーション能力を養う取り組みを行ってきた。引き続きすすめていきたい。
	④ 地域・保護者と連携し、信頼される魅力ある学校づくりをすすめる。	本校のビジョンや地域学習のあり方などを見直し、検討をしていきたい。

領域	重点目標番号	評価項目	具体的目標および評価の観点	評価	成果と今後の課題
教育活動	学習指導	① 基本的学習習慣の確立	1 生徒に学習意欲を喚起することができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生では、国語、数学、英語において習熟度別授業を実施した。応用・標準の講座替えを度々行い、個々に応じた授業を展開できた。</li> <li>・2年生は、進学・教養のコース選択を実施した。進路目標に向かって学習に取り組むことができた。</li> <li>・3年生は、各自の進路実現に向かって、資格取得等、具体的な目標を定めて努力し、成果をあげることができた。</li> <li>・全学年で学校設定科目「ベーシック」では、基礎力の向上に向けて個別の指導を行い、生徒は熱心に取り組むことができた。</li> <li>・少人数の特性を活かした双方向型の授業展開を進めることが課題である。</li> </ul>
			2 生徒の状況に応じて個別指導や学習支援ができたか。	B	
	② わかる授業の実践	1 少人数を生かした授業を展開できているか。	B		
		① 進路意識の形成	1 進路ガイダンスを効果的に設定できたか。	B	
	2 就業体験を通して将来の進路意識を高めることができたか。		B		
	① 希望進路の実現	1 コース制を生かした進路実現が図られたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学は、大学・短大・専門学校に10名が合格。就職希望者は就職支援員の方の指導もあり、ほぼ全員の生徒の就職先が決定した。これは入学時から、生徒の状況に応じて外部機関等との連携、ソーシャルスキルトレーニング等を行ってきた成果である。今後も、この経験を生かし、計画的な取り組みを進める中で希望実現を目指していきたい。</li> </ul>	
		2 生徒の目的意識を明確にし、納得のゆく進路選択が図られるよう進路相談を行うことができたか。	B		
	生徒指導	① ③ 基本的な生活習慣の確立	1 日常的な啓発活動ができたか。	B	
			2 家庭と連携して指導できたか。	B	
		① ③ 問題行動への対応	1 問題行動を未然に防ぎ、校則を守る意識の向上が図れたか。	C	
2 人権に配慮し、生徒にとって居心地のよい雰囲気を作れたか。	B				
① 生徒支援の充実	1 「特別支援研究指定校」・「スクールカウンセラーモデル事業」を有効に活用し、社会的自立を目指した生徒への支援を行うことができたか。	A			
	① ③ 生徒の自主活動の促進	1 生徒会活動を通じ、生徒の自主性を育むことができたか。	B		
① クラブ活動の活性化		1 既存のクラブ活動を活性化させるとともに、生徒の自主的な活動を支援できたか。	B		
	教育課程	① ④ 将来に向けての教育課程の検討	1 本校の現状に即して、選択科目の見直しを含めた教育課程を検討することができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校設定科目「チャレンジ」は、森林作業や福祉等地域社会との交流を図りながら体験的な学習を展開した。本校の大きな特色として定着している。同じく学校設定科目「ベーシック」は、中学校段階までの学び直しを目的とした科目で、基礎・基本の確認及び定着に効果を上げている。</li> <li>・小規模校であるが、習熟度別授業、コース制により、できる限り個々の生徒の進路希望や興味関心に対応する科目を設定できた。</li> <li>・進学・就職ともに、希望を実現させることができた。次年度以降も、進路実現に向けた個別指導等をさらに充実させていきたい。</li> </ul>
① 個に応じた選択科目の設定			1 個々の生徒の進路希望に応じた選択科目を設定できたか。	B	
		2 生徒の希望する進路に応じた指導はできたか。	B		
① ② コース制授業の充実	1 これまでの授業内容を一層充実させ、生徒が満足できるように指導できたか。	B			
	地域との連携	1 授業公開を行い、多くの方に参加していただくことができたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回の公開授業をはじめ、日常的に授業を公開した。中学生向けの授業公開・学校説明会は3回実施した。学校通信を15回発行したり、公民館報により地域への広報活動を行っている。さらに発行回数を増やし、内容の充実を図っていきたい。</li> <li>・中条地区住民運動会をはじめ、ろくちゃんの森、ふれあいまつり、むしくら祭り等、地域行事には積極的に参加し、また新たに「中条子どもプラザ」でのボランティア活動を行うなどの取り組みから、地域からの評価もいただいている。より多くの生徒が積極的に参加できるようにしたい。</li> <li>・教員の相互派遣により地元中学校との密接な関係はあるが、さらに連携を深めていきたい。</li> </ul>	
① ④ 開かれた学校づくり		2 地域と共同しながら行事等を行うことができたか。	A		
		3 地域への広報活動は十分であったか。	B		
① ④ 将来に向けての本校のあり方について	1 地域の要望を聞きながら、よりよい学校づくりをすすめることができたか。	A			
	2 地元中学校からの進学者の増加を目指し、本校についての理解を深めてもらえるよう、積極的に働きかけることができたか。	C			

\*自己評価: A 十分 B おおむね十分 C やや不十分 D 不十分  
(各具体的目標および評価の観点について上記A~Dのいずれか評価する)